

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成30年 1月 31日

計画の名称	白井市における便利で住みやすい環境の実現 (重点計画)							重点計画の該当	○										
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)							交付対象	白井市										
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。																		
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道汚水整備人口普及率を92.3% (H28) から93.1% (H32) に増加させる。																		
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考								
								当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)									
①下水道汚水整備人口普及率 下水道汚水整備済み人口(人) / 下水道汚水全体計画人口(人)								92.3%	92.7%	93.1%	当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等に関連する整備計画と一体的に実施する。								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	6百万円	A	6百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
<b>交付対象事業</b>																			
<b>A1 基幹事業</b>																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	下水道種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
A1-1-1	下水道	一般	白井市	直接	-	汚水	新設	白井1号汚水枝線整備 (未普及解消)	管渠新設に伴う本復旧 A=1,140㎡	白井市						6			
											合計					6			
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	下水道種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
											合計					0			
<b>C 効果促進事業</b>																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	下水道種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
なし											H28	H29	H30	H31	H32				
番号 一体的に実施することにより期待される効果																	備考		
											合計								
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業</b>																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	下水道種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
なし											H28	H29	H30	H31	H32				
											合計								
<b>その他関連する事業</b>																			
計画等の名称	白井市における便利で住みやすい環境の実現																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	下水道種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
A1-1-1	下水道	一般	白井市	直接	-	雨水	新設	白井1号汚水枝線整備 (未普及解消)	φ100×L=700m	白井市						41			

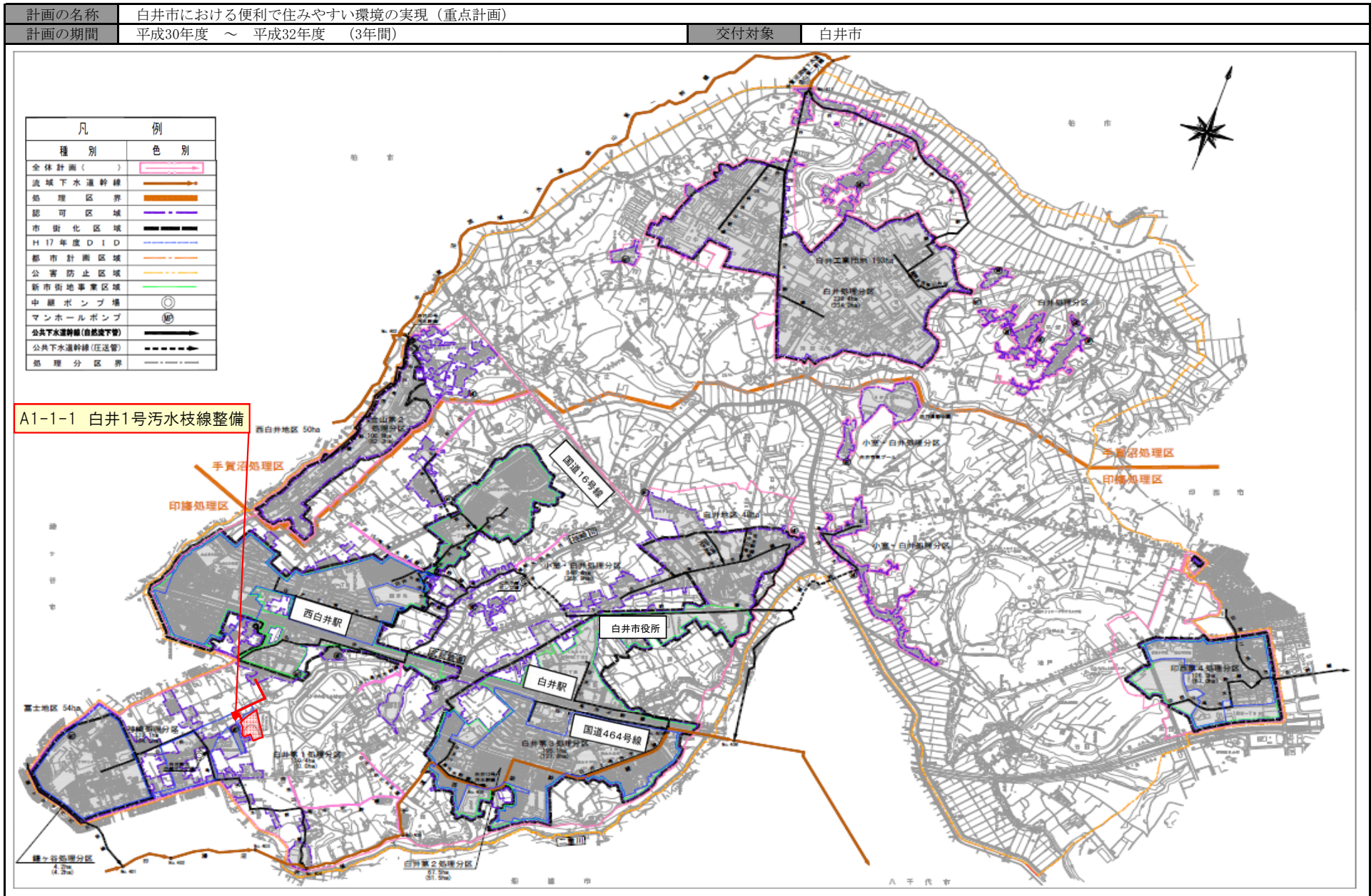
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	—	—	2.7	—	—
計画別流用 増△減額 (b)	—	—	0	—	—
交付額 (c=a+b)	—	—	2.7	—	—
前年度からの繰越額 (d)	—	—	0	—	—
支払済額 (e)	—	—	2.7	—	—
翌年 度繰 越額 (f)	—	—	0	—	—
うち未契約繰越額 (g)	—	—	0	—	—
不用額 (h = c+d-e-f)	—	—	0	—	—
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	—	—	0.0%	—	—
未契約繰越＋不用率が10%を超えて いる場合その理由	—	—		—	—

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。  
 ※ 平成31年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合交付金 下水道事業)

計画名称：白井市における便利で住みやすい環境の実現(重点計画)

事業主体：白井市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画との整合性	○
流域別下水道整備計画や下水道認可計画、市の総合計画と整合がはかれている。	
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性。)	○
全県汚水適正処理構想と整合している。	
3) 緊急性を考慮した計画	○
処理機能の維持のための優先順位を考慮した計画となっている。	
4) 維持管理の課題への対応	○
経費の節減、効率的な管理、機能向上等の維持管理への対応が取られている。	
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の適合性	○
事業計画認可と整合している。	
2) 定量的指標の明瞭性	○
数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	
3) 目標と事業内容の整合性	○
目標を達成するための事業規模を計画している。	
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
十分な事業効果が得られ、生活環境が改善する。	
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境	○
事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性。	
市議会等での整備要望があり、都市計画決定している。	
2) 地元の機運	○
住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性。	